

研究課題名 人間ドックにおける成人眼検診の意義

現在視野障害の原因疾患の第1位は緑内障であり、40歳以上の日本人の17人に1人が緑内障であると推定されています。従来人間ドックで行っております眼底検査で所見が見られても、眼科で精密検査を行うと緑内障を発症していない場合もあります。初期には視野欠損の自覚症状がありませんので、その後の通院を中断してしまうと、緑内障の発症に気づかず病状が進行することが危惧されます。

2013年度～2017年度に人間ドック・職域検診を受診される方のご希望の方を対象に、従来行っている眼底写真撮影・眼圧測定に加えて簡易視野検査を実施することで、緑内障をはじめとする眼疾患の早期発見が可能であるか、調査・分析を行います。また検査の結果を基に、眼底写真で所見が見られても、簡易視野検査で異常が見られない場合は精査を必要とせず、検診での経過観察を行うことは妥当であるか、その後緑内障を発症する可能性、眼検査所見と生活習慣病との関連などにつき検討します。

本研究における個人情報等の扱いは以下のとおりです。

1. 検査は、無散瞳眼底カメラおよび錯視現象を利用した簡易式視野計による検査であり、侵襲はほとんどありません。
2. 受診者の皆さまの個人情報を削除した上でデータの分析を行います。
3. 研究の成果は学会や学術雑誌等で公表する予定ですが、個人が特定できる情報を公表することはありません。
4. 本研究の主任研究者及び分担研究者は、本研究に関する利益相反はありません。
5. 本研究にご自身のデータが利用されることについてご同意いただけない場合やお問い合わせ等につきましては、下記までご連絡ください。

問合せ先

診療部・人間ドック科部長 山地治子
電話 043-246-6131 Fax 043-246-8694
e-mail ha-yamaji@kenko-chiba.or.jp